

# Myopine (マイオピン) 0.01%・0.025% 点眼薬について



Myopine (マイオピン) は、小児期の近視の進行を軽減させることを目的に低濃度のアトロピン (0.01%、0.025%) を配合させた点眼薬で、Singapore National Eye Centre (SNEC : シンガポール国立眼科センター) の研究に基づいて開発されています。\*

## Myopine (マイオピン) 点眼薬の特徴

- ・日中の瞳孔 (黒目) の大きさに対する影響は許容範囲ですが、まぶしさを感じる場合は調光レンズを使用することでまぶしさを軽減することができます。\*
- ・目の遠近調節機能 (手元を見る作業) にほとんど影響を与えません。そのため、近視視力の低下にあまり影響を与えず、近用の眼鏡はほぼ必要ありません。\*
- ・毎日必ず就寝前に 1 滴点眼するだけの簡単な治療法です。
- ・各容器 (1 本・5 mL) は両眼用に 1 ヶ月間の使い切りとなっています。
- ・本製品は GMP 準拠の工場で製造されています。

\*近視の進行が完全に止まるわけではありませんが、少なくとも 2 年間継続して使用することで何もしない方と比べ近視の進行を軽減できたという報告を基にしています。\*

## 近視の進行を抑制することが大切な理由

子どもの近視は、主に眼球が楕円形に伸びてしまう (眼軸長が伸びる) ことで、ピント位置がずれることにより生じるケースが多くあります。

近くを見ることが習慣化してしまうと近視になりやすく、一度眼軸長が伸びてしまうと戻ることがありません。

そのために眼軸長の伸びを抑えることが、近視の進行を抑制するためには重要となります。

